

第1部は演奏を聴きました



ふれあいコンサート

残暑が厳しかった今年ですが、平成28年10月2日(日)そんな暑さに負けない熱のこもった音楽会がハーモニープラザ3階イベントホールにて開催されました。

演奏は、それぞれがプロの演奏家や音楽療法士として活躍されている中で障害のある人ない人誰もが参加できるコンサートを行うという思いの下4人でグループ活動されている「BELIEVE」の皆さんです。

本格的な音楽を楽しめる構成になっていて声をあげて、ドンドン車いすを叩いて、踊りだしても自由！心に響く歌声と圧巻のパークアッションパフォーマンスに、どれだけの人が驚かれたことでしょう。当日の参加者は128名で、ボランティアの皆さん達と一緒に大いに会場が盛り上がりました。

(西長)

第130号

千葉市肢体不自由児者父母の会

会長 中島 哲男

編集人 父母の会広報部

千葉市美浜区磯辺2-21-1

TEL・FAX 043(303)0582

fubonokai@ia4.itkeeper.ne.jp

●参加者の声●

★前半の演奏を聞く部ではこどもがグズってしまつて、もうどうしたらいいのか...と思つていて(演奏がすばらしかっただけに)1部終了時点で帰ろうかと迷っていたのですが、2部で動きが激しくなったら急に機嫌も直り楽しそうでした。「風になりたい」では私もペットボトルをふりまくってすっきりしました。

★重度の障害があると、音楽を聴きに行ったりコンサートに行くのが難しいので今回のような障害者も参加できるコンサートに行けて本当にうれしかったです!!



第2部はみんなと一緒に盛り上がりました



お姉さんと一緒に

★歌、パークアッションが本人にとっても親しみやすく楽しんでいました。マリッパの音色もすばらしかったです。ありがとうございます。

★本人は音楽が大好きなので、大喜びでした。大きな声を出すし手をたたくので、普通のコンサートには連れていきません。このような機会はとてもうれしいです。楽しい時間をありがとうございました。



素敵な演奏をありがとうございました

新施設長のご挨拶

中島 幸一郎



本年8月1日にデ
イアフレンズ美浜・
大宮施設長に就任い
ました。

施設長という重責をいただきましたが「千葉市肢体不自由児者父母の会」

施設見学

障害者通所施設「アトリエプレージュ」

平成28年10月19日(水)、船橋市の「アトリエプレージュ」に見学に行きました。たいよう号を利用し、15名の参加でした。

道路事情で少し遅れましたが11時過ぎに到着。食堂にて施設長のお話を聞



アトリエプレージュ 玄関前にて

の諸先輩方々のこれまでの活動実績を踏まえて、障害者福祉施設としての役割を担ってまいりたいと思います。また、当法人の理念である「安心して暮らせる施設であらう」「生活を豊かにする施設であらう」「健康な暮らしを送れる施設であらう」を踏まえて、職員とともに使命感を持って施設運営に努めてまいりますので、皆様方のご指導、ご協力をお願い申し上げます。

いてから、2グルー
プに分か
れて施設
内の説明
を受けま
した。

1階は
創作やレ
クリエー
ション活
動の場、
2階は機
能訓練と
入浴、ト
イレは介
助者が楽に動けるように広く、1階への避難スロープもありました。
昨年4月に開設された新しい施設なので、広々としてきれいな印象でした。
12時頃食堂へ戻り、質疑応答の後、



広々とした1階。作業するのにもゆとりがあります

全国肢体不自由児者父母の会連合会 全国大会 関東甲信越肢体不自由児者父母の会連合会 神奈川大会

平成28年7月30日～31日、横浜市にて「住み慣れた地域で、共生社会の実現」の大会テーマで開催されました。

基調講演では、DPI日本会議副議長尾上浩二氏より、障害者権利条約と2011年改正障害者基本法、障害者差別解消法についてのお話がありました。

差別をなくし障害者が住みやすい暮らしを作るには、合理的配慮のための環境整備（バリアフリーや情報アクセシビリティ）と、「福祉」「教育」に限らない社会全体での取り組みが重要である、共生のまちづくりにおいて最大の障壁は無関心であるとの言葉が印象的でした。

分科会では「生活支援」に参加。「住み慣れた地域での、生活支援の在り方と実践」をテーマに、5名の方から意見発表がありました。

市川市の方は、医療的ケアが必要な重度重複障害を持つ娘さんのお話で、地域社会で障害者がその人らしく暮らすには計画相談は不可欠であり、相談支援員は常に中立の立場に立って適切な助言が出来るよう、一層のスキルアップに努めてもらいたいとのことでした。

他の発表者の方からも「計画相談がまだ浸透していない」「内容の充実には時間がかかる」「一人の支援員が抱える件数が多過ぎる。上限を設けるべき」「相談事業所によってサービスに差が生じる」等の意見が出されました。

障害者の生活にとって必要となる相談支援ですが、一人ひとりに充実した支援が受けられるようになるには、まだ問題が多いようです。
(菊池)

参加者の声

ランチタイムとなりました。一般開放されているレストランは、地域の方の利用もあり、大きなガラス窓から外の風景も眺められ、保護者同志の話も弾んでゆったりとした時間を過ごせました。(研修部 山中)

した。出来たばかりの施設でまだゆとりがありますが、今後卒業生が増えていくなかで、スペースの利用方法も変わってゆくのではないかと思います。複合施設なので、船橋市民はもちろんのこと、他市の方々のさまざまな利用をすることにより、障がい者の方々の理解がより一層深まっていくのだらうと思います。
(橋本美保子)

夏期休暇支援

今年度の夏期休暇支援は、昨年と同様にハーモニープラザ多目的ホールにおいて、7月27日スポーツレクリエーション、8月25日に音楽療法を親子参加で行いました。

スポーツレクリエーションは、13組の参加で、宍倉先生と共にウォーミングアップ体操、ハンドアーチェリーと玉入れで遊びました。

音楽療法は、18組の参加でしたが、今回は初めて竹内和美先生のグループをお招きしました。手遊び、楽器を鳴らそう、スカーフ遊び等賑やかで笑顔



音楽に合わせてノリノリ♪



的に狙いを定めてトン!

いっぱいの一となりしました。

多数のボランティアの学生の皆さん、スポレクセンターのご協力も得て、楽しいひと時を過ごしました。初参加のお友達にも大変好評でした。

(行事部 野田)

●参加者の声●

スポーツレクリエーションに参加して、初めてのハンドアーチェリーの体験でした。息子は介助が必要ではあります、それぞれに合わせておもりの調整ができ、思った以上に本人が頑張る?と的に強く当たり、そのまま床に!という事もあります。得点板に付かないと得点にはならないので、そのあたりが難しくもあり楽しめます。また夏休みにお友達と会える行事です、来年は何が体験できるか期待しております。

(高瀬奈歩)

研修会

「わが子のライフステージを考える」

平成28年7月13日(水)、ハーモニープラザ共同会議室にて、「わが子のライフステージを考える」をテーマに研修会を行い、22名の参加がありました。

始めに、学校を卒業されたお子様の保護者より、お子様の生い立ちや現在の生活の様子、施設を決めた理由や親の思い等お話しして頂きました。その後参加者全員で、わが子の紹介や困っていること等話し合う形で進みました。参加者のお子様の年齢は小学5年から50歳代と幅広く、生活の場も学校、通所、入所、グループホームと様々で、年齢や所属を越え、普段聞けないような話を聞く貴重な機会でした。

子ども親も幸せになれる、わが子にとっての「自分の居場所」を探すため、

有意義な研修会となりました。

(研修部 長谷川)



●参加者の声●

現在息子は15才です。出生当時に3才迄生きられないと担当医に言われてから日々の息子の世話が気が抜けずふと気がつく卒業が間近です。

お子様の様々な生活、かわり方、その中で将来を考えるお気持ちなどをお聞きしながら、うなずいたり、改めて思うことがあったり、あつという間でしたが、大切な時間を頂くことができました。

(近藤美紀)

プール事業報告



毎月第3日曜日、ハーモニープラザ水浴訓練室にて行っています。今年も7・9・10月に「ゆめけん」の指導員の方々に来て頂き、楽しく活動しました。

(池上)

ウィンズめーる



野菜の色に魅せられて

栗原美由紀

皆さんは一日に何色の野菜を召し上げますか。野菜の色には見た目の華やかさとは違う深い意味があります。

フィットケミカルという言葉聞いた事がありますか。第七の栄養素とも言われ、植物が外敵や紫外線から身を守る為に備わった力。色素や香り、苦味、辛味成分の事で、活性酸素を除去し錆びない体作りが期待されています。

フィットケミカルの色素成分は赤・黄・

・橙・緑・紫・黒・白の七色で、それぞれ違う意味があります。例えばトマトにはリコピンという赤い色素があります。リコピンは抗酸化力がとても強く美肌効果として紫外線から肌を守るという働きが期待されています。カボチャの橙色はβ(ベータ)カロテン。目や皮膚、粘膜の強化、免疫力の向上が期待されています。一部しかご紹介できませんが、野菜の色には意味がある

活動報告

- 7月27日 夏期休暇支援 スポレク
- 7月30日～31日 全肢連 全国大会
- 関ブロ 神奈川大会
- 8月25日 夏期休暇支援 音楽療法
- 10月2日 ふれあいコンサート
- 10月19日 施設見学・アトリエプレジエ
- 10月29日 文化祭バザー出店
- (桜が丘特別支援学校)
- (袖ヶ浦特別支援学校)
- 育成旅行(お台場方面)
- バザー出店
- (ハーモニープラザフェスタ)
- 11月10日
- 11月26日
- 12月3日 千葉市障害者福祉大会

文化祭に出店しました



袖ヶ浦特別支援学校



桜が丘特別支援学校

事が分かって頂けたでしょうか。お料理を美しく仕上げたい時、私はなるべくたくさんの色の野菜を使います。これは見て綺麗なだけでなく、たくさんの色を使う事で栄養のバランスも良くなるという訳です。いつものメニューにまずは一色足してみてもいいでしょうか。きっと見た目にも、お腹にも、健康にも、そして心にも満足していくお料理に仕上がると思います。

第18回千葉市障害者福祉大会

12月3日(土)、ハーモニープラザイベントホールにおいて、第18回千葉市障害者福祉大会が開催されました。

当会監事、増田みずさんの体験発表に耳を傾け、歌手のイルカさんのほっこりしたお話に元気をもらった一日でした。



ハーモニープラザフェスタフリーマーケット

11月26日(土)に、フリーマーケットに参加しました。

皆様に多くの品物を提供していただき、盛況の内に終わることができました。

ご協力ありがとうございました。これからも、よろしく願いいたします。

計報

青木

ちひろさん

(亥鼻作業所)

ディアフレンズ大宮)

ご冥福をお祈りいたします。

あとがき

今年も残すところあと少し。毎年この時期には「今年の漢字」が発表され話題になります。

平成28年。個人的には、年明けにものすくうれしいことから、友の死まで激しく感情が揺れ、月末に「1月を一字で表すと『激』だったなあ」などと振り返ったのをきっかけに、毎月「今月の漢字」を考え始めました。

2月は「学」。スマートフォンとタブレットを買い替え、契約や操作やアプリ等やこしいことを、頭がシャットダウンしそうなほど勉強しました。

3月は大きな役目が一つ終わって、「弛」。4月は義母の滞在で「嫁」。5月は手編みにはまって「編」等々。

そうした様々な字が積み重なった1年の漢字は「充」といったところ。皆様にとって今年はどんな一文字だったでしょうか。

来たる年が「幸」多き1年になりますように。

本年も「のびる」をお読みいただきありがとうございました。(千)